

# チーバくんの今日はどこ行く?



## ① 市原湖畔美術館(市原市)

県下一の貯水面積を誇るダム湖(高滝湖)に臨む美術館。令和7年1月13日まで開催中の企画展「かみがつくる宇宙-ミクロとマクロの往還」では、身近な素材でありながら無限の可能性を持つ「紙」を使った作品を展示しています。

また、湖畔から見える水上彫刻や、明治時代に地域を干害から救った「藤原式揚水機」を模した大きなモニュメントも見どころの1つ。美しい自然の中でゆったりアートを鑑賞しませんか。

**開館時間** 平日10時～17時、土曜・祝前日9時30分～19時、日曜・祝日9時30分～18時

**休館日** 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日

**交通** 小湊鉄道高滝駅から徒歩20分。圏央道「市原鶴舞IC」から車で5分(無料駐車場約50台)

**入館料** 一般1,000円、高校・大学生・65歳以上800円(1月13日までの料金)、中学生以下・障害者手帳をお持ちの方と介護者1人は無料

**問** 市原湖畔美術館 ☎0436-98-1525



柴田あゆみ  
《いのちの詩》2024



撮影:遠藤匡



## ② 谷津干潟自然観察センター(習志野市)

東京湾の最奥部に残された約40ヘクタールの谷津干潟は、国境を越えて旅する水鳥たちの憩いの場。約70種の水鳥のほか、カニや貝など、干潟の生き物が暮らしています。

干潟を一望できる自然観察センターでは、レンジャーが干潟の自然や野鳥観察をご案内。12月は、ハマシギなどの渡り鳥や、色鮮やかなカモたちを間近に見られます。工作コーナーや、鳥や干潟の生き物に親しめるおもちゃもあるので、家族連れにもおすすめです。

**開館時間** 9時～17時(16時30分最終入館)

**休館日** 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12月28日～1月1日

**交通** JR南船橋駅から徒歩20分。

京葉道路「花輪IC」から車で10分(無料駐車場98台)

**入館料** 一般380円、65歳以上190円、中学生以下・障害者手帳をお持ちの方などは無料

**問** 習志野市谷津干潟自然観察センター

☎047-454-8416

谷津干潟自然観察センター 検索



ハマシギ



カモのカップル



# キラリ輝く★ちばの星

県立八街高等学校  
「一人一人の夢に向かって」

## 十人十色の自由な時間割

八街高校は、県内に8校ある総合学科設置校の先駆けとなった高校です。総合学科とは、生徒が自分で科目を選択する単位制の学科のこと。八街高校では100以上の選択科目を組み合わせる自由な時間割を作成することができます。2年生では約半分、3年生では大半が選択科目となり、一人一人が異なる時間割で、それぞれの夢に向かって学んでいます。



「身近な動物」の授業で動物に関わる仕事を体験

## 大人への階段 ビジネスマナーを身に付けよう

選択科目の1つである「秘書実務」では、外部講師から社会人として大切なビジネスマナーや、会食で役立つテーブルマナーなどを学んでいます。

授業について、大澤さん(3年)は「お茶の出し方などを実践しながら教えてもらえるので、よくわかった」と話してくれました。また、円城寺さん(3年)は「授業で学んだ言葉遣いなどが、就職活動で役立った。卒業後は受付事務の仕事に就くので、礼儀正しい接客を心がけたい」とのこと。

しっかりとしたあいさつや話し方が頼もしい生徒たち。自信を付けて社会で活躍できるよう、これからも学びを深めます。



箸の美しい持ち方を実践

八街高等学校(八街市)

1946(昭和21)年に八街町立八街高等女学校として創立。1年生は大学や企業での体験学習を行い、進路や適性について具体的に考えることができます。外部講師による専門的な授業は「秘書実務」のほかに「中国語」「身近な動物」「野菜づくり入門」などもあります。

**問** 県立八街高等学校 ☎043-444-1523 八街高校 検索



# 旬のレシピ ちばの味 vol.226

## カブのカルパッチョ

(1人分/約90kcal 脂質6.5g 食塩相当量0.5g)

### 材料 2人分

カブ	1~2個(100g)	A	オリーブオイル	大さじ1
生ハム	20g		レモン汁	小さじ1/2
塩	少々		すりおろしニンニク	小さじ1/2
			黒こしょう	少々

### 【作り方】

- ①カブは葉を切り落として皮をむく。薄くスライスして塩水(水200ccに塩小さじ1)に5分ほど浸し、キッチンペーパーで水気を拭き取る。葉(適量)は細かく刻んで塩でもみ、しんなりしたら、さっと洗って水気を絞る。
- ②生ハムを2センチ幅に切り、カブの間に挟んで皿に並べ、上からカブの葉を散らし、Aを混ぜ合わせて回しかける。

### 葉と皮も捨てずにもう一品! カブの葉ふりかけ

材料 2人分 (1人分/約70kcal 脂質3.8g 食塩相当量0.2g)

カブの葉・皮	合わせて120g	B	酒	大さじ1
ごま油	小さじ1		しょうゆ	小さじ1と1/2
白ごま・かつお節	適量		砂糖	小さじ1/2

### 【作り方】

- ①カブの葉・皮を細かく刻み、ごま油で炒める。
- ②しんなりしたらBを加えて水分がなくなるまで炒め、仕上げに白ごま・かつお節を加えて混ぜ合わせる。

### カブの豆知識

千葉県のカブの生産量は全国第1位(令和4年)。葉を切り離して保存すると、葉から水分が蒸発せず、みずみずしさを保つことができます。

**問** 県報道広報課 ☎043-223-2241 (調理協力・千葉伝統郷土料理研究会)

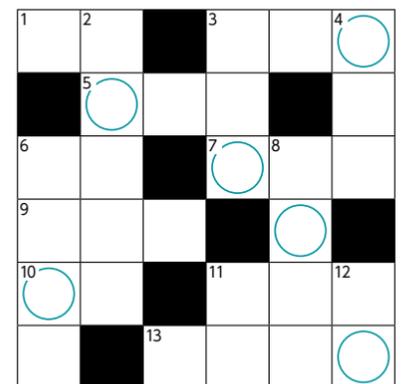
# クイズ&プレゼント

丸部分の文字を組み合わせて、答えになる言葉をつくってください。

## 【ヨコのカギ】

- ①大きな耳と長い鼻を持つ動物
- ③君津市の「亀岩の洞窟」は、特定の時期に差し込む光が〇〇〇形に見えることで知られています。
- ⑤野球でボールを打つための道具
- ⑥相手を抱きしめる欧米式のあいさつ
- ⑦国の代表的な武芸や競技
- ⑨水族館のショーでジャンプや曲芸などを披露する動物
- ⑩周りを海に囲まれた陸地
- ⑪豆などを暗所で発芽させた野菜
- ⑬かんきつの風味が溶け込んだ調味料。ふるふき大根に合います。

ヒント=寿命を延ばすといわれる縁起物です。



## 【タテのカギ】

- ②赤ちゃんを乗せて押す物
- ③祖父母の兄弟姉妹の孫
- ④人より得意だと思える物事
- ⑥歯のトラブルを診て治療するドクター

- ⑧「ハクシヨウ!!」
- ⑪肉食性の小鳥。捕まえた獲物を枝に刺しておく「はやにえ」で知られています。
- ⑫薬味として葉や実を食べる香味野菜

締め切り **12月16日(月)必着** ※投函はお早めに

**応募方法** 県ホームページ「ちば県民だよりクイズ応募ページ」からご応募いただくか、はがき(85円)に、①答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥「ちば県民だより」への意見・感想を全て必ず書いて、〒260-8667(住所記載不要)県報道広報課クイズ係へ(応募は1人1通まで)。正解者の中から抽選で50人に「特製クオカード」を贈呈。いただいたご意見などは、今後の編集の参考にさせていただきます。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報は、賞品の発送のみに使用します。



応募ページ

11月号の正解  
アクアライン



正解者は5,676人でした。